

プラス思考

校長 安部成年

8月25日から2学期が始まり、9月1日、2日には活水祭を開催しましたが、今年度は新型コロナ流行前のレベルでの実施が可能となりました。また、PTAの全面的なご協力により、前夜祭ではキッチンカーの導入や花火の実施など、これまでにない充実したプログラムを展開できたことは、本当にありがたいことであったと思います。ご協力いただいた皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

次は体育大会の開催ということになりますが、こちらは今回初めて県立体育館で実施するというところで、手探り状態で準備を進めているところです。環境が変わっても、例年と同じように楽しく充実した体育大会が実施できるようにしたいと思っています。

さて、先月の巻頭言で稲盛和夫氏の「人生の方程式」を紹介し、その中で「考え次第で人生は決まってしまうといっても過言ではない」という言葉に触れましたが、私もこれまで生きてきた中で、そのことを強く感じるようになりました。そして、何事も自分にとってプラスになると考える「プラス思考」ができるかどうか、自分の人生を良い人生にできるかどうか大きく影響しているように思っています。

プラス思考は、自分が嫌だと思うようなことでも自分にとってプラスになると受け止める積極的・肯定的な考え方です。困難に直面したとき、それを否定的に受け止めたり安易に逃げたりするのではなく、「この困難に向き合い挑戦することで、自分はそれだけ強くなれる。自分の世界が広がる。」と思って前向きに取り組めば、その辛さにも耐えられますし、良い結果も得られるものです。また、結果の成否にかかわらず、積極的に挑戦した分だけ精神的な成長を遂げることができます。

「辛く悲しいことでさえも自分を成長させる糧となる」、「人生において無駄な経験は一つもない」と考える「プラス思考」ができるか否かで人生は確実に違ったものになるのだということを、皆さんには理解しておいてほしいと思っています。

なお、「プラス思考をする人は、そうしようと意識している。」と誰かが言っていました。私もそう思います。プラス思考は誰もが生まれながらにして持っているというものではありません。自分で意識して身につけていくものだということも間違いないと思います。

生徒の皆さんは、学校生活の中でも、学習と部活動の両立に苦労したり、人間関係で悩んだりなど、いろんな困難にぶつかることがあるかと思いますが、それらはすべて、皆さんの成長に不可欠で大切な経験なのだ前向きに受け止め、問題解決に向け意欲的に努力していってくださることを期待しています。

中学新体操全国大会出場

8月5日（土）に北九州で開催された九州大会で3位入賞し、5年ぶりに全国大会の出場権を獲得しました。全国大会は、8月17日（木）～19日（土）愛媛県で開催されました。4月から、このメンバーで多くの試合を経験する中で、チームワークを深め、学び反省し、成長してきました。試合では、これまでの練習通りの演技ができ、18位でした。中学3年生にとっては、最後の大会となり、いい締めくくりとなりました。応援ありがとうございました。

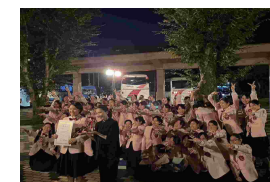
(向井杏奈)



吹奏楽九州大会金賞、全国へ

8月27日（日）熊本県立劇場で開催された第68回九州吹奏楽コンクールに長崎県代表として出場しました。金曜日からホール練習を重ね本番へと調整を行いました。演奏の技術向上は勿論でしたが最後まで体調不良者も出ず全員で本番に臨むことができたことが大変喜ばしいことでした。今年も金賞、そして全国大会への切符をいただきました。

10月22日（日）の名古屋国際会議場で活水サウンドを響かせたいと思っています。皆さん応援よろしくお願いたします！（杉町たまみ）



弓道地区新人戦団体・個人ともに優勝

8月27日（日）、長崎市宮弓道場で開催された令和5年度長崎県高等学校長崎地区新人体育大会弓道競技で、団体・個人ともに優勝を果たしました。今大会には本校から2チーム、活水A（木村・濱松・永田・森田・平田）と活水B（今出・田中・古賀・道本・木下）、さらに控え（田邊・川田・土肥・中山）を加えて参戦。長崎地区の20チームが参加する中、活水Aは予選を1位で突破し、活水Bも5位と健闘しました。個人戦でも、濱松美幸さんが射詰めで競り勝ち、長崎地区の頂点に輝きました。

団体決勝戦では、長崎北陽台高校に対して序盤にリードを奪われる苦しい展開となりました。しかし、最後の一系列で連続的中する追い上げを見せると、主将の森田紗弥花さんが決勝の一矢を放ち、2000年大会以来の栄冠を手にすることができました。本校の選手層の厚さを示すとともに、強かった先輩たちに誇れる闘いでした。（梅本雄史）



活水Aチーム



濱松美幸さん

秋のオープンスクール

10月14日（土）

午前 中学校
午後 高校

一緒に楽しい時を
過ごしましょう

※詳細はHPをご覧ください。

30	27	23	22	21	19	18	17	16	11	9	5	4	2	1	9月行事予定	
土	水	土	金	木	火	月	日	土	月	土	火	月	土	金	1	金
まるごと活中体験⑭	中間者査時間割発表	秋分の日	40分授業（ワックスかけ）	体育大会（県立体育館）	月曜日の授業	敬老の日	活水女子大オープンキャンパス	特進ⅠⅡⅢ土曜課外	体育大会練習（県立体育館）	高Ⅲ模試（～10日）	面談週間（～8日、40分授業）	代休	まるごと活中体験⑬	活水祭1日目	活水祭2日目	



今月の聖句

「まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。今がその時である。」
(ヨハネによる福音書4章 23節)

活水中高では、毎朝礼拝があります。修学旅行や宿泊研修、活水祭、体育大会でも毎朝です。毎朝、当然のように行われる礼拝ですが、みなさんは礼拝の順番を気にしたことがありますか？礼拝は入場（招き）、前奏、賛美、聖書朗読、説教、祈禱、賛美、後奏、退場と神様から私たちへの招きやメッセージ、そして私たちから神様への賛美や祈りと双方向のコミュニケーションになっています。つまり、礼拝は神様と私たちとの出会いの場、コミュニケーションの場所なのです。普段のコミュニケーションでも、相手のことを配慮することは大切です。話している人の方を見る、姿勢を正す、応答する。だから、毎朝の礼拝でも、姿勢や態度にも気を付けて、積極的に神様とコミュニケーションをとりましょう。（三河悠希子）

第2回高校オープンスクール開催

8月26日(土)、第2回の高校オープンスクールが開催されました。今回のオープンスクールのメインは「体験」です。猛暑の中、県内外の中学3年生の生徒と保護者、合わせて約157名の方が来校してくださいました。

「体験」前の全体会では、ダンス部によるウェルカムライブから始まり、新コースの紹介と入試説明、生徒会からの活水祭告知がありました。その後、授業体験(聖書・国語・社会・数学・理科・英語・家庭科・美術)と希望者の部活動体験(サッカー・バレー・バドミントン・卓球・バスケットボール・弓道・コーラス・放送)、オンライン英会話体験が行われました。その他に活水女子大学の展示コーナー、活水女子大学看護学部によるハンドマッサージ、制服コーナー(試着コーナー)、校内施設見学ツアーなども行い、それぞれに楽しんでいただきました。オープンスクール参加者の皆様からは、「先輩方が丁寧に教えてくれてうれしかった」「調理実習で他校の友達と協力しながら作業ができて楽しかった」「ダンス部のウェルカムライブが素敵だった」「制服を実際に着ることができて良かった」「体験(授業・部活)することで活水の雰囲気を味わうことができて良かった」などの感想をいただきました。(常泉晶子)



夏期自学会で先輩の体験談も

7月31日(月)~8月4日(金)の5日間(9:00~16:00)、夏期自学会が本校プレゼンルームで実施されました。特別進学コース41名および英語科・総合進学コース8名の生徒が参加しました。各自、学習計画を立てて、取り組んでいきました。

一日目は、卒業生の、開田爽音さん(長崎大2年)、村田木実さん(長崎県立大4年)、川端結夢さん(佐賀大4年)の3名が来校し、高校時代の体験談を話してくれました。

話を聞いたⅢ年生の生徒は「私は、特に面接練習に関する話が印象に残りました。先輩方が積極的に練習に取り組んだ姿勢に刺激を受け、自分も先輩方を見習って実践しようと思いました。「国公立大学に合格した先輩」というと、どこか特別な人のような感覚を持っていましたが、実際に話を聞いてみると、今の自分達と同じように勉強してきたことを知ることができ、とても励みになりました。」と感想を述べてくれました。(古田雄介)



平和祈念集会、新学期にあらためて

今年の平和祈念集会は、戦争の悲惨さと平和の尊さについて、安田和也先生(都立第五福竜丸展示館学芸員)、奥村茂樹様(吉永小百合原爆詩朗読会プロデューサー)の講演や、生徒代表の平和スピーチを通して学ぶことを目的として、8月9日に実施予定でした。しかし、台風接近のため、始業式に延期し、生徒の平和意見発表、平和宣言と折り鶴献納のみ実施しました。

各学年代表の意見発表タイトルは以下のとおりです。

- 「世界に平和を」(中一 松本花)、「普通」(中二 筑濱心奏)
- 「原爆をとおして」(中三 平田笑子)
- 「平和のためにできること」(高Ⅰ 山田橙和)
- 「二つの被爆地が伝えたい思い」(高Ⅱ 小島穂花)
- 「平和への想いを継承するわたし」(高Ⅲ 安元喜愛)

また、平和宣言は平和学習部の引地志歩さんと山田佳音さんが行いました。発表や宣言はそれぞれに充実しており、平和について考える機会を学校として護ることができました。いずれも年度末に発行される生徒会誌「活ける水」に掲載予定です。

こうしている間にも世界の紛争が止まることはありません。私たちが平和について考え、行動し続けることが紛争をなくす一助になることを期待しています。

平和祈念集会は講演の中止という残念な結果にはなりませんが、事前学習として奥村様のコーディネートにより、本校チャペルの入り口で「第二楽章 男鹿和雄展」を、折り鶴週間(7月)から始業式に順延した平和祈念集会の日まで実施することができました。

生徒たちの感想:「絵に深みがあり感動しました。」「普段は海の上にいる第五福竜丸が森の中にある絵や戦争に対しての恨みを表した詩が印象的でした。」「言葉で人に戦争の辛さを訴えているものと綺麗な景色が戦争により変わってしまうということを伝えているのかと思いました。」「

また、社会科の授業という限られた範囲ではありましたが、安田先生によるオンライン授業や、奥村様に寄贈いただいた第二楽章のCDと絵本による学びを、分かち合うことができました。

生徒たちの感想:「第五福竜丸も原爆と同じ、さらにいうとそれより酷かったと知って悲しくなりました。核が完全に無くなるのは無理だと思うので規制をたくさん作って使わない工夫をするべきだと思います。」「核実験をする必要はあるのか、なんのためにするのか、みんな平和を望んでいるのに核を持っている国がまだあるのが信じられません。」「(岩永崇史)



大会成績等

〈中学新体操部〉

長崎県中学総合体育大会 新体操競技

女子団体総合優勝

(久米つづり、平井彩摘、松村星彩、大石仁菜、谷口玲奈、近藤晏名)

女子個人総合 優勝 久米つづり
第3位 平井彩摘

九州中学校新体操大会 女子団体 第3位

(久米つづり、平井彩摘、松村星彩、大石仁菜、谷口玲奈、近藤晏名)

*全国中学校体育大会新体操選手権大会出場

〈中・高吹奏楽部〉

九州吹奏楽コンクール 高等学校の部 金賞

並びに 全日本吹奏楽コンクール九州代表に推薦

〈高校弓道部〉

長崎県下弓道遠の大会

高校女子団体

第2位 活水Aチーム

(森田紗弥花・永田陽菜・濱松美幸)

第3位 活水Bチーム

(今出いくみ・田中清良・平田明日羽)

高校女子個人 第2位 森田紗弥花

第3位 高橋明日美

第4位 濱松美幸

長崎地区新人体育大会弓道競技

女子団体 優勝

女子個人 優勝 濱松美幸

〈高校バレーボール部〉

長崎県バレーボール協会長杯中野杯 第3位

〈高校コーラス部 樟TwinkleStars〉

長崎県合唱フェスティバル

・九州合唱コンクール長崎県大会
フェスティバルの部 銀賞

〈団体音楽〉

NHK全国学校音楽コンクール県大会 奨励賞
中学全校生

〈個人音楽〉

長崎県高等学校音楽コンクール

声楽部門 金賞 石田彌月

*全国大会出場

銀賞 土井口清葉

金管楽器部門 金賞 谷下葵

*九州大会出場

木管楽器部門 銅賞 宗田悠花

ながさき“若い芽”のコンサートオーディション

管・打楽器部門 優良賞 山口まりあ

Pia-Conピアノコンコンルディア全国大会

近現代曲部門 中学生以下の部

優秀賞 高野萌々香

デュオ部門 中学生以下の部

優秀賞 高野萌々香

(山口真樹人)